

# 10 ■野鳥の情報センター

## さえずりの里 (北蒲・紫雲寺町)

■環境：森川 河川 海岸  
 ■対象：家族 一般  
 ■期間：4～6、9、10  
 月 通年

日本海に沿って松林が続き、そこに加治川、落堀川が流れ、広い砂浜に波が打ち寄せる。多様な自然環境は四季を通して多くの野鳥に憩いの場を与えている。新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里は県立紫雲寺記念公園の一角にある。

### 〈阿房堀～落堀川探鳥コース〉

松林の中、愛鳥センターから阿房堀沿いに落堀川まで歩いてみよう(約2km)。阿房堀には砂丘のわき水が流れ、落葉広葉樹の林が茂り、沼地には珍しいミズトクサが群生している。また落堀川は川幅が広く、岸边にはアシが茂っている。

[春] まだ冬鳥のツグミやジョウビタキの音が聞こえる林に、早々と夏鳥が姿を見せる。渡りの途中のコマドリやコルリ、オオルリ、キビタキで、美しい歌声も響かせはじめる。アシ原では新芽が伸び、オオヨシキリがさえずり、カイツブリやバン、ヨシゴイも活動を始める。

[夏] 木々の緑が深まると、野鳥の子育ての季節である。林では、それぞれのソングポストでクロツグミやホオジロ、メジロが高らかにさえずりサンコウチョウやウグイスも緑の葉影でしきりに鳴いている。阿房堀沿いでは、若葉の枝先でアオジ



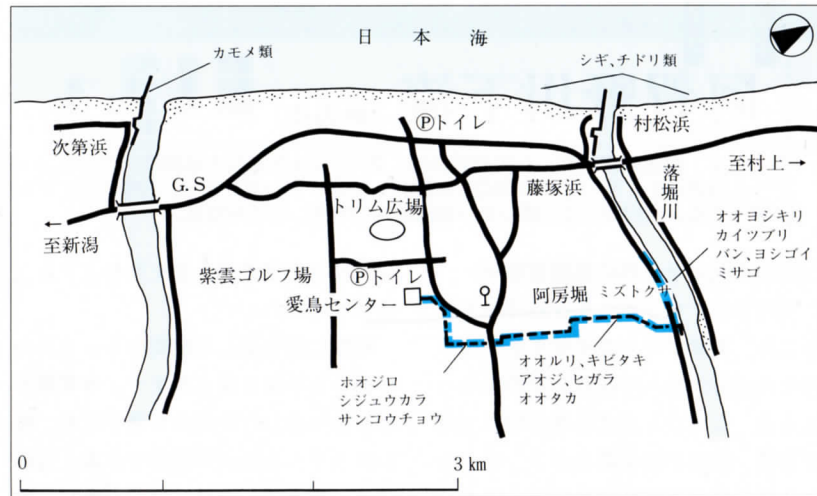
アオジ さえずりの里周辺で観察される

が静かに歌っている。

農耕地に囲まれた砂丘の松林では、時折、オオタカの帆翔する飛影や、松の枝に止まる姿に出会うことがある。落堀川では、ホバリングやダイビングして魚を捕るミサゴも観察される。

[秋] 落堀川をにぎわしていたオオヨシキリのさえずりが静まると、秋の渡りの季節である。春に姿を見せた鳥たちが、再びこの林で羽を休める。ヒヨドリやカシラダカ、マヒワが秋空を群れ飛び、山地の小鳥たちも姿を見せる。

松林ではアオゲラ、アカゲラの甲高い鳴き声が響き渡り、木々の間をカラ類の混群が忙しげに移っていく。よく



見ると、こずえの茂みにキクイタダキの可憐な姿が見え隠れし、低木の茂みではウグイスやアオジ、ホオジロの地鳴きが聞こえる。

[冬] 海に近い砂丘地帯は雪が少なく、この松林で冬を過ごす野鳥も多い。

寒い朝も林の中は穏やかで、ジョウビタキやビンズイが地上でエサをついばみトラツグミが近くの枝に止まり、そして傍らのヤブにはミソサザイが潜んでいる。シジュウカラは、寒さにもめげず、にぎやかに群れて移動していく。

### 〈藤塚浜・村松浜・加治川河口〉

初秋、砂丘の浜辺には南へ渡るシギ、チドリが姿を見せる。以前より数は減ったが、ゆっくり回ればハマシギ、トウネン、ミュビシギ、ヘラシギ等に出会える。

冬、加治川河口はカモメ類でにぎわう。突堤に羽を休めるウミネコ、カモメ、オオセグロカモメ、セグロカモメ、シロカモメは、数も多く観察しやすい。

(大滝清二)

### メモ

**交通** JR新発田駅下車、藤塚浜行きバス「須貝医院前」下車徒歩5分。車なら国道7号線新新バイパス蓮野1Cから国道113号線、加治川を渡り約2kmで信号右折。

☑ 紫雲寺記念公園内と愛鳥センターに駐車場とトイレあり。

**探鳥会** 県立愛鳥センター主催で月に2～4回あり。

問い合わせ：新潟県愛鳥センター「紫雲寺さえずりの里」 ☎0254-41-4500  
 センター本館には参考資料が展示され、飼育舎では保護・飼育中のワシ・タカ類などを間近に観察できる。